

広報

my hometown TOMIOKA

2015

2

No.628

とみおか



華やかに大人の仲間入り

ふるさと復興へ、二十歳の誓い 平成27年富岡町成人式



平成27年富岡町成人式が1月11日、郡山市のベルヴィ郡山館で行われました。式には、今年成人を迎えた230人のうち、全国各地から158人が出席。宮本町長が「社会の一員として、損得ではなく善悪の正しい判断と行動力で困難を乗り越え、今後の富岡町、そして日本を支える人材として成長していくことを期待します」と式辞を述べたあと、新成人代表の根本平さん(富一中卒)へ成人証書と記念品が授与されました。

続いて、平良佳鈴さん(富一中卒)が「震災という経験を乗り越え、仲間との絆がより深まり、家族の大切さも改めて感じることができました。今後は常に自分を見失うことなく、一日一日を大切にしながら、地域の役に立つ、そして近い将来ふるさと富岡の復興に少しでも貢献できるような社会人になります」と誓いのことを述べ、他の成人者と共に、大人としての一歩を踏み出した決意を新たにしていました。

この日は小中学校の恩師もお祝いに駆け付け、近況報告や思い出話を花を咲かせながら、たくましく成長した教え子の姿に目を細めていました。

「仲間との絆と諦めない心」



平良 佳鈴 さん
(西原)

富岡町は私の自慢のふるさとであり、震災まで過ごした16年間は私にとって何事にも代えることの出来ない大切な思い出です。また、富岡町で育ったからこそ出会えた仲間との繋がりは、私の一生の財産でもあります。震災が起きて、その大切な仲間が散り散りになり、私自身も福島県を離れざるを得なくなったことは大変残念で、胸が締め付けられる思いでした。しかし、辛い経験を乗り越えて仲間との絆がより深まり、家族の大切さも改めて感じる事が出来ました。

私はこの震災を通して、諦めない心と協力することを学びました。必ず震災から立ち上がり、自分の目標や将来を見失わず、前に進んでいきます。そして、未来を預かる責任ある立場として、私達にできることは何かを常に考え、常に学びながら生きていきたいと思っています。

私は今、看護師を目指しています。様々な患者さんの思いを受け止め、よりニーズに応え、元気を与える事の出来る看護師になることが目標です。私はこの福島で地域の方々との交流を大切に考え、看護師として医療に携わり、ふるさと福島の医療に貢献して行きたいと考えています。そして、立派な看護師となれるよう、常に志を高く持ち続けたいと思います。

「新成人の心」



根本 平 さん
(仲町)

震災時、私は高校一年生でした。震災による原発事故の影響で、自分の育った街から出て行くことになりました。あの時のことを思い返すと「恐怖」という言葉しか出てきません。自分の中では2、3日経てば帰れると思いつつながら避難しましたが、気づけば避難所を転々とし、とにかく生きなさいけない、そんなことを考えながら毎日必死で生きてきました。富岡町に戻れなくなり、もう4年の歳月が流れます。正直、言葉では表せない複雑な心境です。

私は今年で成人を迎え、大人の仲間入りをする事ができました。まず、ここまで育ててくれた恩師や親、親族の皆さんに感謝したいと思います。そして今回、あれから離れ離れとなった仲間たちと再会し、この4年間、それぞれが苦難を乗り越え、新たな目標に向かっていくというのを聞き、「恐怖」という言葉から「希望」という言葉に変えることができました。今後、私は富岡町民であるということ、そして、富岡町の未来を背負っている若者として、あの日のことを一生忘れず、強く生きていきたいと思えます。

最後に富岡町の皆さん。必ず富岡町を取り戻しましょう。私たちの故郷はどんなことがあっても、富岡町です。



富岡二中出身及び夜の森地区の皆さん



富岡一中出身及び富岡地区の皆さん



左から、佐藤守さん、伊藤飛鳥さん、佐藤俊之助さん、根本豊さん
「成人式を迎えて、少し大人になれたかなという実感があります。それぞれ違う道に進みましたが、震災を乗り越えたことを力にして頑張っていきたいです」

三瓶遥香さん(左)、伊澤史恵さん
「本当は富岡町で成人式をやりたいです。色々なことに責任を持って自覚のある生活を送り、自分自身成長していきたいと思います」

石原悠衣さんご両親の政人さん、ゆかりさん
「新潟県に避難し、就職しました。仕事を頑張り、その恩返しをしていきたいです」

左から、遠藤奈央子さん、森春香さん、金村あかりさん、遠藤成海さん
「一人前の大人になれるよう目的を持った生活を送り、仕事にも励んでいきたいです」



左から、遠藤翼さん、三瓶裕希さん、恩師の柳沼敏文教諭、小向駿介さん
「友人に会えたのが一番嬉しいです。今まで多くの方々に支えられたので、その恩返しの意味でも頑張っていきたいです」

左から、阿久津侑希さん、平田あすかさん、三瓶紫織さん、小澤楓さん、大沼綾菜さん
「友人に会えて嬉しいです。みんな大人になったなと感じるし、自分も成長できているかなと思います」

富岡で生まれ育ち、出会った大切な仲間たち



左から、林桃香さん、工藤美紗さん、村井由紀さん、薄恵さん
「今まで育ててくれた親や地元の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。社会に貢献できるような大人になりたいです」

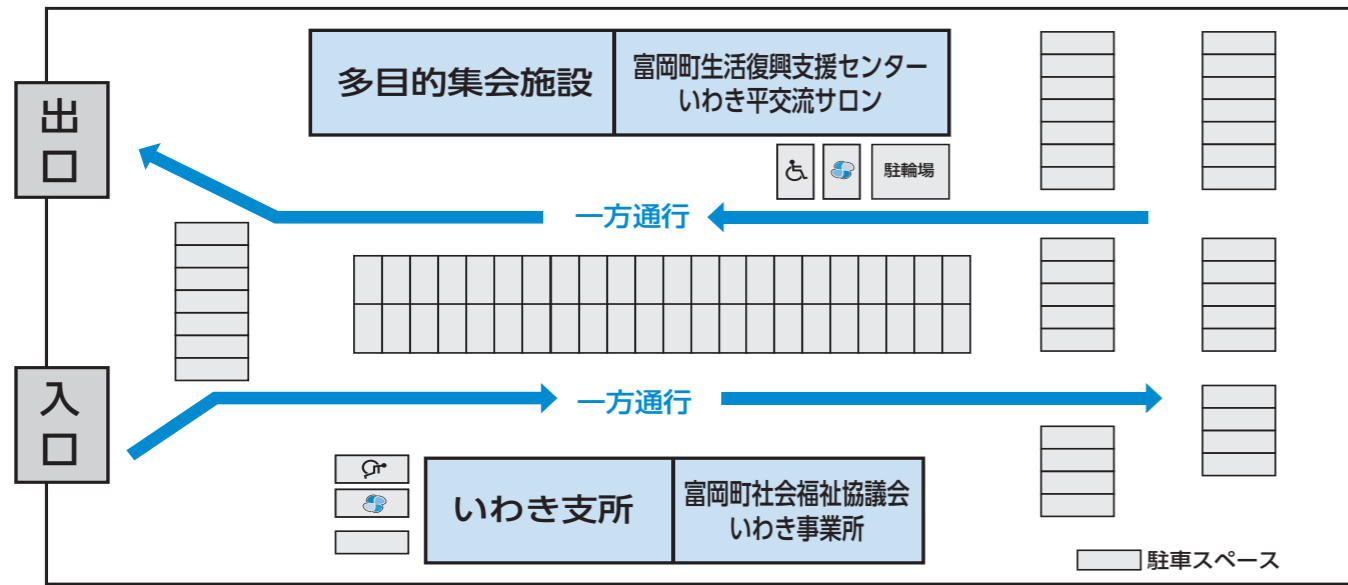


前列左から、鈴木遼太さん、猪狩優也さん
後列左から、佐藤将史さん、飯土井貴行さん、渡邊和考さん、鈴木周平さん
「福島県の復興に携わる仕事に就きたいです。意思をしっかり持って、社会に貢献していきたいです」





いわき地区の拠点として複数の施設を集約



富岡町役場いわき支所が移転 施設を集約し利便性を高める

いわき合同庁舎内で業務を行っておりました富岡町役場いわき支所が、いわき市平北白土地区に移転し、昨年12月22日、開所式が行われました。

式には関係者約50人が出席。宮本町長が「いわき市内においては、市民をはじめ多くの皆様にご支援とご協力をいただきながら、同市内及び周辺自治体に避難されている町民への住民サービスにあたってきました。今後も避難生活の長期化が予想され、町民に対する生活支援の強化を図る上で、いわき支所をはじめとするこれらの施設が担う



挨拶を述べる宮本町長



宮本町長、塚野町議会議長、清水いわき市長(右から2人目)らによるテープカット

役割は非常に重要なものがあります」と挨拶したあと、清水敏男いわき市長らから祝辞をいただきました。

いわき支所と同じ敷地内には、富岡町社会福祉協議会いわき事業所、富岡町生活復興支援センターいわき平交流サロン、また、行政区や自治会の催しなどにご利用いただける多目的集会施設も併設されています。今後は、町関係施設・事業所を集約させたいわき地区拠点施設として、町民の皆さまの利便性を高めながら業務にあたってまいります。



富岡町役場いわき支所事務室



社会福祉協議会いわき事業所事務室



多目的集会施設



いわき平交流サロン

平成26年 確定申告相談のお知らせ

日時／2月16日(月)～3月20日(金)

税務課 課税係

今年も確定申告の時期となりました。書類等の準備はお済みですか？
町で行う平成26年分の所得税と町・県民税の申告相談が、2月16日から始まります。また、平成22年から平成25年分の所得税確定申告は、申告期限の延長が平成27年3月31日に終了いたしますので、まだ申告がお済みでない方はこの機会にご相談ください。

申告が必要な方

申告が必要な方は、平成27年1月1日現在で本町に住所があり、次のいずれかに該当する方です。

- ・給与・年金等の収入があり、年末調整をされていない方
- ・営業・農業・不動産等の事業収入があった方
- ・一時所得(生命保険の満期返戻金など)・配当所得(株式の配当など)があった方
- ・東京電力の賠償金(就労不能損害、営業損害、農業損害、不動産損害)を受領した方

なお、年金収入額40万円以下で他の所得が20万円未満であれば申告する必要はありませんが、住民税の申告は必要となります。

申告に必要なもの

- ① 収入について
給与及び年金
源泉徴収票／東京電力からの就労不能分の金額及びその合

- 意した日が分かる明細書等
- ▼農業収入
年間収支計算内訳書／農作物出荷証明書など(東京電力の補償を含む)
- ▼不動産収入
年間収支計算内訳書／支払調書など(東京電力の補償を含む)
- ▼営業収入
年間収支計算内訳書など(東京電力の補償を含む)
- ▼譲渡所得
売買契約書の写し／領収書などは、農業、不動産、営業などは、支払った領収書が経費になることがありますので、そちらもお持ちください。
- ② 所得控除について
▼社会保険料
国民健康保険税、国民年金、介護保険料、後期高齢者医療保険料等の支払証明書
- ▼生命保険料
生命保険料、個人年金保険料、介護医療保険料の支払証明書
- ▼地震保険料
地震保険料、長期火災保険料の支払証明書

その他

- ▼医療費控除
1年間に支払った医療費の領収証
- ▼住宅借入金特別控除
源泉徴収票(給与、年金所得者の場合)／家屋の登記簿謄(抄)本／住民票の写し／工事請負契約書又は家屋の売買契約書の写し／建築確認通知書又は検査済証の写し(増改築等の場合)／住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書
- ▼東京電力の補償について課税となるもの
・就労不能等に伴う損害(休業補償)：対価性がないため、一時所得に該当します。
・営業損害
そのまま事業所得の収入金額となります。通常通り、必要経費を控除して所得が発生すれば課税されます。
・検査費用
業務用資産等に対するものは、収入金額となりますが追加的費用(必要経費)と相殺され



税務課 課税係

れます。
・財物価値の減少等
棚卸資産に対するものは事業所得の収入金額となりますが、必要経費を控除し所得が発生すれば課税されます。
※農業、不動産、営業など賠償金の支払いを受けた明細をお持ちください。
▼平成22年～平成25年の申告について
平成22年から平成25年分が未申告の方も、合わせて申告することが可能です。できるだけ必要書類をお持ちいただくようお願いいたします(災害により必要書類が不足する場合も、記憶を元にある程度ノート等にまとめていただくようお願いいたします)。

重要なお知らせ

- ① 平成22年～25年分の所得税確定申告について、申告期限延長が平成27年3月31日までとなっており、町職員による申告受付も終了いたします。それ以降は、最寄りの税務署で申告していただくこととなりますので、この機会にご相談ください。
- ② 富岡町の申告相談は3月20日まで実施しますが、国税庁が定める平成26年分の申告期限

▼申告相談日程(受付時間 9:30～15:30)

月 日	受付場所	
2月16日(月)	大玉出張所 (大玉村玉井字台45-1)	
2月17日(火)		
2月18日(水)	移動日	
2月19日(木)	三春出張所 (三春町貝山字泉沢100-1)	
2月20日(金)		
2月23日(月)	郡山事務所 第2会議室 (郡山市大槻町字西ノ宮48-5)	
2月24日(火)		
2月25日(水)★		
2月26日(木)		
2月27日(金)		
3月2日(月)		
3月3日(火)		
3月4日(水)★		
3月5日(木)		
3月6日(金)		
3月9日(月)		移動日
3月10日(火)		
3月11日(水)		
3月12日(木)★		
3月13日(金)	富岡町いわき地区拠点施設 多目的集会所 (いわき市平北白土字宮前8番地) ※7ページ地図参照	
3月16日(月)		
3月17日(火)		
3月18日(水)		
3月19日(木)★		
3月20日(金)		

★印の相談日は、18:00～20:00も受け付けています。

注)申告相談期間中は、相談会場以外での受付ができません。
注)いわき地区拠点施設での申告相談は、混雑が予想されますのでお早めにご相談ください。



乳がん・子宮がん検診
意向調査の実施について

平成27年度乳がん・子宮がん検診意向調査票を、県内の市町村に避難している対象者に送付いたしました。対象の方で書類がお手元に届いていない方は、健康福祉課健康づくり係までご連絡ください。

意向調査票は、受診を希望する・しないに関わらず、返信してください。受診を希望された方には、健診の日程に合わせてお知らせを送付いたします。

▼対象者
乳がん検診：40歳以上
子宮がん検診：20歳以上

自動車の登録・検査の手続きはお早めに

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し窓口や車検場が大変混雑します。名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きは2月中に行うなど、できるだけ早めに済ませましょう。

東北運輸局福島運輸支局
【登録関係】
☎050-5540-2015
【検査関係】
☎024-546-0342

赤十字復興支援事業
「元気あつぷライブ」のお知らせ

日本赤十字社福島県支部では、復興支援事業として「元気あつぷライブ」を開催いたします。抽選で1600名様をご招待いたしますので、ふるってご応募ください。

【高嶋ちさ子&加羽沢美濃 震災復興支援クラシックコンサート】
▼日時
平成27年3月15日(日)
開場13時30分 開演14時

（乳がん検診は、2年に1回の受診となりますので、平成26年度に受診された方は対象になりません）

※県外に避難されている方は、委託先の（一財）日本予防医学協会から郵便にて書類が届きますので、そちらからお申込みください。

健康福祉課 健康づくり係

おもいやり駐車場について

福島県では、車椅子マークのある駐車スペースの適正利用を図るため、「おもいやり駐車場利用制度」を実施しています。

発行された利用証は、制度を導入している府県の協力施設で利用することができ、この度、新たに埼玉県川口市が加わり31府県1市となりました。

「おもいやり駐車場利用制度」は、皆さまの「おもいやり」によって運用される制度です。ご協力をお願いします。

▼制度導入府県

- 岩手県・山形県・福島県
- 茨城県・栃木県・群馬県
- 新潟県・福井県・山梨県
- 静岡県・三重県・滋賀県
- 京都府・大阪府・兵庫県
- 鳥取県・島根県・岡山県
- 広島県・山口県・徳島県
- 香川県・愛媛県・高知県
- 福岡県・佐賀県・長崎県
- 熊本県・大分県・宮崎県
- 鹿児島県・埼玉県川口市

健康福祉課 福祉係

相双保健福祉事務所
☎0244-26-1133
県庁 高齢福祉課
☎024-521-7197



利用証

駐車場の表示看板

富岡町ごみ出しカレンダー

平成27年2月							平成27年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
燃えるごみ、ごみ出し日							燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日							燃えるごみ、ごみ出し日						
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
燃えるごみ、ごみ出し日							燃えるごみ、ごみ出し日						
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
燃えるごみ、ごみ出し日							燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						
							29	30	31	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日

ごみは分別したうえで、上記の回収日にお出しください。回収業者は、数日かけて町内のごみステーションを巡回し、順次、ごみの回収を行います。

粗大ごみやリサイクル対象家電、危険物等は、ごみステーションでの回収はいたしません。分別方法やごみの出し方については、平成26年11月21日発行の広報お知らせ版に同封の「平成26年12月からのご家庭の片付けごみの回収について(お知らせ)」又は町ホームページをご参照ください。

生活環境課 環境衛生係

障害者控除対象者認定書の交付申請について

障害者手帳などをお持ちでない65歳以上の方で、要介護1～5の認定を受けている方(要支援1・2の認定者は該当しません)のうち、一定の要件に当てはまる方については、申請に基づき「障害者控除対象者認定書」を交付いたします。

確定申告の際にこの認定書を提示することで、本人又はその扶養者が所得控除(障害者控除)の適用を受けることができます。

※対象年度中に亡くなった方の分も申請できます。

※税申告用の書類のため、身体障害者等の認定とは異なります。

▶控除額

対象となる方	所得控除額
障害者控除(要介護3及び要介護1・2で要件に該当する方)	27万円
特別障害者(要介護4・5の方)	40万円

【申請方法】

申請用紙は、健康福祉課介護保険係に備えてありますので、お電話にてお問合わせください。窓口にお越しの際は、申請者の印鑑をお持ちください。

また、ホームページ(申請書ダウンロード：福祉・介護)からダウンロードすることもできます。

健康福祉課 介護保険係

放射性セシウム濃度測定日のお知らせ

【ゲルマニウム半導体式核種分析装置(検出限界目標1ベクレル)】
20ベクレル以下の小さい値も検出でき、富岡町では1ベクレル検出を目標に定め、測定しています。

受付月	測定日	測定場所
2月受付分	3月9日(月) 3月23日(月)	富岡町役場庁舎 (本岡字王塚)
3月受付分	4月13日(月) 4月24日(金)	
4月受付分	5月7日(木)	
	5月18日(月)	

※富岡町内の水・土壌・果樹等を測定できます。

※詳細は、申込まれた方へ毎月初旬にご連絡いたします。

▶申込み先 富岡町役場産業振興課
☎0120-33-6466

【簡易放射能分析装置(検出限界値 約20ベクレル)】
20ベクレル以上の放射能を検出します。

実施施設	申込み先
富岡町役場郡山事務所	富岡町コールセンター ☎0120-33-6466
いわき支所	
大玉出張所	
三春ベクレルセンター(三春の里敷地内)	☎080-3933-6772

※各施設で予約を受け付けております。申込み先へご連絡いただいた際に、ご希望の実施施設をお選びください。

消防署からのお知らせ

平成26年中、双葉郡内で発生した火災は9件で平成25年の20件を大きく下回りました。
今年も引き続き火災を予防し、更なる減少を目指しましょう。

【全国の出火原因】

- 1位 放火…家屋周辺の整理整頓をしましょう。
- 2位 たばこ…水で確実に消火しましょう。
- 3位 たき火

※建物火災の出火原因第1位は、コンロです。
火の取扱いには、十分注意しましょう。



火災と救急は119番
 ◇浪江消防署 ☎0240-38-2119
 ◇富岡消防署 ☎0240-25-2119

双葉地方水道企業団からのお知らせ

水道水中における放射性物質のモニタリング検査結果

双葉地方水道企業団では、福島県の「水道水の放射性物質モニタリング検査実施要領」に基づき週3回の検査を実施していましたが、12月15日採水分より検査を毎日実施しています。結果は以下のとおりです。

水道施設の復旧工事は、道路・下水道の復旧に合わせて配水系統ごとに進めています。水道の使用が可能となった区域については、広報紙等により案内いたします。なお、水道メーター付近の調査及び止水作業のため、お客さまの敷地内に立ち入らせていただく場合がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

■ 双葉地方水道企業団 富岡営業所 ☎0240-25-5315
 開庁時間：平日 8:30~17:15

■ 採水場所：小山浄水場
 ■ 水源：木戸川(ダム放流水)

採水年月日	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
12月2日			
12月4日			
12月7日			
12月9日			
12月11日			
12月14日			
12月15日			
12月16日			
12月17日			
12月18日			
12月19日			
12月20日	不検出	不検出	不検出
12月21日			
12月22日			
12月23日			
12月24日			
12月25日			
12月26日			
12月27日			
12月28日			
12月29日			
12月30日			
12月31日			

■ 採水場所：関根浄水場
 ■ 水源：富岡川(伏流水)

採水年月日	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
12月2日			
12月4日			
12月7日			
12月9日			
12月11日			
12月14日			
12月15日			
12月16日			
12月17日			
12月18日			
12月19日			
12月20日	不検出	不検出	不検出
12月21日			
12月22日			
12月23日			
12月24日			
12月25日			
12月26日			
12月27日			
12月28日			
12月29日			
12月30日			
12月31日			

※いずれの検体も、12月31日時点で放射性物質は不検出です。
 ※「不検出」とは、一定の条件で測定機器が検出できる最小値(1.0Bq/kg)未満であることを示しています。

測定機関：双葉地方水道企業団
 分析装置：ゲルマニウム半導体検出器
 検査頻度：毎日(12月15日採水分以降)
 測定方法：緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法(放射能測定マニュアル(文部科学省))

【参考】検査日現在の目標値 (単位：Bq/kg)

	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
食品衛生法の規定に基づく新たな基準による目標値	-	10	10

※これまで暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

問い合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
FAX 024-961-3441
- 富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
FAX 024-953-6304
- 榎葉分室(復旧課・復興推進課)
〒979-0515
福島県双葉郡榎葉町大字上小崎字小山6-2
FAX 024-25-8254
- 富岡町役場いわき支所
〒970-8024
福島県いわき市平北白土字宮前8番地
FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
FAX 0243-48-1147
- ※上記への連絡はコールセンター ☎0120-33-6466まで
- 富岡町役場連絡所(下郡山集会所)
〒979-1132
福島県双葉郡富岡町下郡山字真壁327-1
☎ 080-5743-5409・080-5743-5410
FAX 0240-25-8804
- 大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
- NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5297
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334



富岡高校女子サッカー部 困難を乗り越え 再び全国の舞台へ

第23回全国高等学校女子サッカー選手権大会

1月3日、富岡高校女子サッカー部が4年ぶり5回目となる全国大会に出場しました。富岡高校は、兵庫県の森球技場で行われた1回戦、長崎県代表・鎮西学院高校と対戦。後半途中まで2点のリードを許すも徐々に持ち前のプレースタイルを発揮し、主将・今野のゴールで1点差とするなどスタンドを沸かせました。試合は、惜しくも1-3で敗戦となりましたが、選手たちは会場に駆け付けた保護者やOB、在校生らの声援を力に、全力で戦い抜きました。

大会を終え、大和田校長は「富岡高校の選手として、1年生から3年生がそろって出場できるのは今回が最後。その節目ともいえる年に、全国大会へ出場できたことはたいへん嬉しいことです。部員数の減少から大会出場も危ぶまれた中で、努力を続けてきた強い志を尊敬します」と、選手たちの活躍を称えました。

震災後、多くの困難にぶつかりながらも仲間と共に乗り越えてきた選手たち。その「諦めない心」が、たくさんの人に勇気と感動を届けたことでしょう。



女子サッカー部 松本克典監督

選手たちは、高校生活のすべてをサッカーに打ち込んできましたが、その成果を「全国大会出場」という結果に残せたことが良かったです。限られたメンバーと環境で、どうすればいい結果が出るのか考えながら、震災後の4年間を過ごしてきました。そんな中で勝ち取った今回の全国大会には、特別な思いと重みがありました。

主将 今野 楓さん

人数がそろわずに、出場できる大会に限られるなど悔しい思いをたくさんしましたが、そんな中でも仲間と共に諦めずに努力を続け、全国の舞台に立てたことは本当に嬉しかったです。

サッカーに集中して過ごした高校3年間、チームも自分自身も成長でき、富高に入学してよかったと思っっています。いつか、松本監督のようなサッカー指導者になることが夢です。

元気な掛け声が響く 大玉村安達太良応急仮設住宅自治会で餅つき大会



12月25日、大玉村安達太良応急仮設住宅で餅つき大会が行われました。使用された餅米は、大玉村の渡辺政司さんからお借りしている水田で同自治会の皆さんが栽培し、昨年9月24日に収穫したものです。

つきたての餅は、雑煮やあんこ餅、きな粉餅、納豆餅、福島県の郷土料理である高遠餅にして、参加した町民に振る舞われ、鎌田光利自治会長は「今年は豊作で5俵の餅米が収穫できました。仮設住宅に住む町民が一同に会して行うイベントは、コミュニケーションが取れるいい機会です」と、今年も餅つき大会が開催できた喜びを語られました。

◀合計1俵半の餅米をお餅に

より良い富岡町へ発展するために 総合開発審議会委嘱状交付式



委嘱状を受取る審議会委員(右)

町は、災害復興計画(第二次)案などを審議する総合開発審議会を発足し、12月19日、宮本町長が14人の委員に委嘱状を交付しました。

委員の任期は平成28年12月18日までで、宮本町長が「魅力ある富岡町への発展のため、多岐多様な方面からお力をお貸しください」と挨拶。初会合では、会長に石井宏さん(富岡町社会福祉協議会推薦)、副会長に黒澤英男町議会議員を選出したあと、町担当職員が災害復興計画策定までの行程や、これまでの経緯を説明しました。

2回目の審議会は、平成27年3月上旬に開催予定で、町から災害復興計画(第二次)の中間報告を受け審議します。

会長、副会長以外の委員は次の通りです(順不同・敬称略)。

渡辺 光夫・中田 寛・小林 和枝・安藤 治
鎌田 光利・石井 宏和・中野 正幸・田中美奈子
遠藤 幸雄・坂本 壽昭・細山 芳康・堀川 章仁



復興計画の概要について説明を受けた初会合

町内防犯の一翼を担う JV(工事共同企業体)がパトロール隊を結成

町内で国直轄の除染を行う、JV 3社(鹿島・三井住友・日立製作所・鈴建・飛鳥JV、清水・竹中土木・東京パワーテクノロジー JV、大林・東亜・森本・大和小田急・東武JV)が町内防犯パトロール隊を結成し、昨年12月23日、双葉警察署で委嘱状交付式並びにパトロール出発式が行われました。

現在富岡町では、とみおか守り隊(町消防団)や民間警備会社による24時間体制のパトロールに加え、町内44ヵ所に設置された防犯カメラでの監視を行っています。常磐自動車道・広野IC-常磐富岡IC間の再開通や国道6号線の全線自由通行開始などに伴い、窃盗被害の増加が懸念されています。



宮本町長から装備品を受取る隊員の皆さん



町内パトロールに出発する関係車両

今回、パトロール隊員の委嘱を受けたのは3JVの作業員計18人で、宮本町長と渡部敏久双葉警察署長が腕章などの装備品を隊員に手渡し激励。

宮本町長が「双葉警察署、富岡消防署及び町消防団、3共同企業体が一丸となることで、町内全域の犯罪抑制につながります。今回、町内に滞在する機会の多い各事業所の皆様に防犯・防火活動をお引き受けいただき、心から感謝と敬意を表します」と挨拶を述べました。

防犯カメラ映像が容疑者検挙に貢献 双葉警察署から町へ感謝状

町内で運用している防犯カメラの映像がひき逃げ事件の捜査・解決につながり、双葉警察署から感謝状が贈られました。

今回のひき逃げ事件は、昨年12月12日に南相馬市小高区で発生したもので、逃走した容疑車両と思われる車を防犯カメラが撮影。ナンバー認証システムによって事件車両と断定され、捜査の進展に寄与しました。

12月25日に富岡町役場郡山事務所で行われた感謝状贈呈式では、渡部敏久双葉警察署長が御礼を述べられると共に、宮本町長と今後のさらなる防犯体制の強化に向けて連携・協力を確認しました。



宮本町長に感謝状を手渡す渡部署長

TOMIOKA

桜通信

第34号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



最近の夫婦の楽しみは「孫の成長観察」

杉内行政区副区長。故郷を追われたことに加え、避難により母が亡くなるなど辛い思いをしたが、妻や孫たちに支えられ、少しずつ元気を取り戻している。

現在、郡山市内の借上げ住宅に夫婦で生活している。

自然を生かした暮らしだったが、私の自宅では、避難するまで山から水を引いて生活用水として利用していました。水道はきていましたが、山からの水は、まさに「天然水」で、

水道とは比べものにならないほど、おいしいものでした。大地震の直後、断水が発生しましたが、近所の皆さんが、水を汲みにくるほどでした。

水に限らず、富岡では自然を生かした生活をしていましたが、原発事故による避難と放射能汚染で、その生活は遠いものとなりました。震災が発生した時期は、すでに田起こしや堆肥を施した後で、被災当日は、じやがいもを播くために畑の畝(うね)をこしらえたところでした。

長引いた避難所生活

避難に際して、私たち夫婦は町と行動を共にしました。被災当時、母が大熊町内の老人保健施設に入所していたため、その行方を知るためにも、行政と離れない方が良いのではないかと判断しました。また、避難所以降の生活再建・支援についての情報も得やすいと考えたからです。

私たちが、避難所となっていたビッグパレットふくしまから、現在生活している借上げ住宅に移ったのは、すでに多くの皆さんが同所を出ていた平成23年7月になってからでした。それまで、仮設住宅の入居者募集のたびに応募しましたが、子どもや高

齢者、障がい者のいる家庭が優先となり入居できませんでした。そのため、止むを得ず借上げ住宅での生活となりました。

近づき始めた故郷の復興

避難区域の再編で、自宅のある杉内行政区は居住制限区域となり、先日、屋敷内の除染が終わりました。施工にあたり、徹底的な除染を求めましたが、避難後芽吹いた植物などは除外され、裏山は限定的な範囲のみとなるなど満足なものではありません。しかし、時折自宅に行つて建物内などを整理したり、敷地に除草剤を散布するなど、荒れないように心がけています。

また、先日大手飲料メーカーから贈られた町への寄付を原資に、当行政区の鎮守である麓山神社の被害復旧が行われることになりました。避難後中断している火祭りの復活に繋がればと願っています。

昨年からは、ほぼ毎週のペースで、妻の実家があるいわき市川前町小白井地区を経由して自宅に向かい、その足でいわき市内で生活する次女一家の元に行く日々を送っています。故郷の復興が近づいたのかと感じたり、孫の成長を感じたりして元気づけられています。



まちの思い出

まちの思い出

青山 總子さん (小浜)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



夫・和憲さん(左)、長女・芽雨美さんとともに

高校卒業後、関東地方に就職し町を離れた。その後、結婚した夫・和憲さんが總子さんの故郷をとっても気に入り、約37年前、富岡町に移り住んだ。

富岡が一家の「故郷」だった

結婚後、夫の強い希望で故郷・富岡町に移り住みました。夫は画家で、海・山・太陽に恵まれた大地がある富岡が創作活動には最適だと気に入って、その後の人生を営む拠点を選びました。夫は、独りもくもくと創作に打ち込むタイプで、あまり人付き合いをしない

水平線に陽は昇るが
その後、愛知県内に住む夫の弟が用意してくれた住宅に移り現在に至っています。ここは、近畿地方有数の歴史と芸術のある地域です。頻繁に外に出ては、この土地の歴史や文化に触れ歩きました。そうした中、街の文化

ほうでしたが、富岡や周辺の町村で絵画の指導を行い、人付き合いをするようになり、富岡は夫の創作活動や子育てなど、私たち家族それぞれの人生にとって最適な場所でした。
被災後、私の親族を頼って滋賀県まで避難してきました。避難当初は私の妹が住む大津市内におりましたが、隣接する高島市朽木にある市営住宅に入居しました。朽木に移動したときは、その地名に「このまま朽ちていくしかない…」と、冗談ながらも寂しい思いになったこともありましたが、しかし、かつて「朽木庄」と呼ばれ、戦国時代には戦況を左右する重要な役割を果たした由緒ある場所であることを知り、「戦乱を経て平定の時代に」という具合に、原発事故による避難という混乱を経て、この先落ち着いていけるという気持ちを感じるようになりました。

人の温かさや新たな故郷
現在の住宅に移ってから、地域活動にも積極的に参加させて頂いています。また、夫はこちらでも創作活動を再開し、避難後まもなく小さなギャラリーを借りて親子展(夫・長男・長女)を開催しました。同じく芸術の道に進んでいる娘は、故郷・富岡の写真集を出すなど精力的に活動するようになりました。
こちらへの避難以降、多くの皆さんに助けられています。その中には、阪神淡路大震災により高島市に移住した皆さんも多数おられます。困ったときはお互い様とはいいますが、そうした人の温かさを改めて感じさせられたと共に、なかなか復興の進まない故郷の現状と今後の人生を考え、ここで家族と共に生活していくことを決めました。

佐藤シゲ子さん (本町)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



「先生の元気は、私たちの元気」と慕われる日々は健在!

日本舞踊藤富流紫扇会や生け花教室(龍生派)を主宰している。避難後に出版した詩集「原発難民の詩」が大きな反響を呼んでいる。

「災い転じて…」の人生

私は樺太(現・サハリン)から北海道への引揚げの途中、予定より先に小樽港(北海道小樽市)に向いました。後になって分かったことですが、当初、私たちが乗船する予定だった引揚船など計3隻は、ソビエト軍の潜水艦

により撃沈され(三船殉難事件)、多くの犠牲者が出る悲劇となってしまいました。予定通りの引揚船に乗っていたならば、今の私はありません。また、原発事故に伴う避難では、新潟県在住の長男が私たち夫婦を迎えに来てくれました。町を離れ、身を寄せるために、県内各地の避難所をまわり、入れるところを探しましたが、どこも満員で入れず、長男一家が住む新潟県で過ごすことになりました。そのため、避難所の過酷な環境に遭わずに済みました。
このように私は、予定通りの引揚船に乗らなかつたことや避難所に入れなかつたことなどの「災い」が最終的に良い結果に繋がる「災い転じて福となす」の人生となっています。

富岡に落ち着いたという「縁」

引揚げ後、父の出身地である福島市内に移りました。そこで、警察官だった夫と知り合い結婚しました。夫の職業柄、県内各地を転勤で回り、富岡町に赴任して、目の前に海があり冬でも太陽が降り注ぐこの町と出会い、居を構えることになりました。その後、私は、喫茶スナックを営む

傍ら、日本舞踊や生け花の教室を主宰するようになりました。富岡に落ち着いたという縁で、生徒さんをはじめ、沢山の方々と出会いました。
避難により、日本舞踊の教室は大幅な活動の縮小を余儀なくされましたが、被災した年も、アリオス(いわき市)で発表会を行うことができました。

詩集「原発難民の詩」

県内外の避難先を転々とする中でしたためた詩を、平成24年7月に「詩集・原発難民の詩」、同年12月には「原発難民のそれから」として、それぞれ出版しました。避難により同じ境遇にある皆さんをはじめ、全国の方々から共感をいただきました。また、各地の朗読会で読まれるようになり、俳優の吉永小百合さんや市原悦子さんが、私の詩をイベントやラジオで朗読してくださいました。
詩は当初、私の悩みや苦しみを綴ったものでしたが、原発事故と被災者の現状について広く知っていたたく一助になったことは、とても嬉しく思います。

この地域は、琵琶湖の北部西岸に面しているため、朝陽は湖面から顔を出します。琵琶湖の日の出は美しいものですが、富岡で見た太平洋の大海原に顔を出す太陽を思い出し、恋しくなることもしばしばです。

渡邊 茂さん (毛萱)
TOMIOKA 桜(さくら) 通信



妻・えみ子さんと、これからも「二人三脚」

友人との絆に感謝
幼い頃から、大工である父の背中を見て育った私は、中学校卒業後、相馬市にあった職業訓練所(浜高等

大工だった父親の姿をみて、建築の道に入った。
大津波で自宅のある毛萱地区は大きく被災した。自宅と作業場も被害を受け、大工道具一切も津波に流された。
現在、三春町にある平沢仮設住宅で妻と共に生活しながら、同仮設住宅の自治会長を務めている。

技術専門校「南相馬市」の前身)に進み技術を学び、同訓練所修了後は父に弟子入りし、迷わず建築の道へと進みました。多くの弟子を育てた父は、親としてだけでなく師匠としても大きな存在でした。
私たちが夫婦は避難により川内村に向かいましたが、避難所は全て満員だったため、県立田村高校に身を寄せました。同校では、教職員の皆さんだけでなく、生徒の皆さんにも大変お世話になりました。その後、この仮設住宅に移り、現在に至っています。
私は、昔から体力だけには自身があり体は毎日鍛えていました。そのため、避難後は何もできずパニック状態になってしまいました。そんな中、平成23年9月、訓練所時代の同期で、相馬市内で建築業を営む友人から、「道具一式揃えるから腕を振るってこれ」と声がかかり、仕事に復帰することができました。そして約一年半の間、相馬市内に単身赴任する生活を続け、同地で住宅5棟を仕上げることができました。約半年ぶりの現場は、まるで水を得た魚のように、私に元気と希望を与えてくれました。そうした救いの機会を与えてくれた友人には感謝に堪えず、夫婦共々そうした絆のありがた

たさを改めて感じさせられました。
「夜の森の桜」復活に向けて
昨年末、富岡町内の友人が経営する造園会社で、富岡町からの委託を受け、夜の森地区内で桜の手入れをすることにしました。私は友人から作業に加わってほしいとの依頼を受け、現在、その仕事に携わっています。
夜の森公園とその周辺地区は帰還困難区域内にあるため、作業時間が限られる他、放射線防護など慎重な作業が要求されます。また、被災後3年以上放置されていたこともあり、桜の木が多くでは、病害虫による被害がみられます。子どもの頃から長年親しんだ夜の森の桜のそうした姿に心が痛みますが、その分、「元気になれよ」と木々一本ごと、まるで仲間を元気づけるように、丁寧な作業にあたっています。
先日、仮設住宅でふるさと生産組合が栽培したもち米を使った餅が振る舞われました。入居者の皆さんは、久しぶりに味合う故郷の恵みに感無量な様子でした。間もなく避難後4年を迎えますが、このように、故郷の復興を感じられることもありました。

遠藤こころさん (新町)
TOMIOKA 桜(さくら) 通信



結構「天然入ってる」んで、頑張っちゃいます!

小学3年生で町内の少年野球チームに入団。チームの紅一点として活躍した。
両親ともにスポーツ好きで、野球一色にも見えるが、幼少の頃からバイオリンやピアノを習うなど、「文化系女子」としての顔も持つ。

きっかけは「テレビドラマ」
私はテレビドラマ「ルーキーズ」を見て野球に興味を持ち、小学校3年生の時に、富岡町の少年野球チーム「富岡コンバットジュニア」に入団しまし

た。野球は男子のスポーツという印象があるかもしれませんが、私は何の抵抗も無くその中に飛び込み、プレーすることができました。チームメイトは、私が女子だからといって特に気にする訳でもありませんでしたが、私が富岡コンバットジュニアの歴史上、初めての女子メンバーだったということもあり、今思うと監督やコーチは少し気がまっていたように感じられます。避難するまでの約2年間、チームの一員として大好きな野球ができたことを、私は今でも誇りに思っています。
避難先は富士山の麓
私は、原発事故による避難のため、静岡県富士宮市内にある母の実家で両親と共に生活しています。避難後、野球を通して友人を作って欲しいという両親の考えもあり、私は地元の野球チーム「大富士フリッパーズ」への入団を決めました。その後、避難した年の4月には、地元の小学校に転入しました。転入当初、突然環境が変わってしまったことに戸惑う日々もありましたが、両親や地域の皆さんの支えもあって友人もでき、馴染んでいくことができました。

「二球入魂女子」の夢
「昨年、私は中学生になりましたが、学校にソフトボール部がなかったため、現在は地元のクラブチーム「FSTトップファイヤーズ」に所属しています。これまで男子に混じりプレーをしていた私にとって、女子のチームメイトとプレーをするのは初めての経験でした。多少、勝手の違いのようなものを感じることもありましたが、仲間との連携を図りながら取り組んでいます。
昨年末、私はソフトボール静岡県選抜チームのメンバーに選ばれました。県選抜チームは県下の強豪選手が集まるため、緊張もある反面、普段とは異なった刺激を受けることができ、多くのことを学ぶ場にもなっています。早速、3月下旬に北九州市で開催される第11回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会に同チームの一員として出場します。
この春、私は中学校3年生になり、進路の選択を迎えます。もし可能であれば、高校進学後再び野球をやりたいと思っています。しかし、女子野球部がある高校は大都市圏にしかなく、様々な制約もあります。高校進学は、今後の人生にとって大きな岐路でもあるため、両親と相談しながら慎重に考えたいと思います。

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)
※以前の線量と比較することを目的とし、6ヵ月前の町内線量と除染済みの測定場所を示しました。

No.	測定場所	H27.1.5~7		H26.7.11~12		除染状況
		天気:晴れ~くもり~晴れ		天気:晴れ~くもり		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
1	下千里消防屯所	0.89	0.64	工事中	工事中	除染済み
2	上千里消防屯所	0.38	0.32	0.62	0.48	除染済み
3	杉内消防屯所	0.66	0.54	0.77	0.58	除染済み
4	第二工業団地入口	3.45	4.56	3.90	5.07	
5	高津戸集会所	0.92	0.74	1.71	1.31	除染済み
6	富岡第二中学校東側	1.58	1.91	1.83	2.15	
7	新夜ノ森集会所	4.71	7.03	5.20	7.71	
8	夜の森公園	2.09	4.65	2.48	5.81	
9	松の前待避所	6.39	11.28	8.35	13.20	
10	小良ヶ浜集会所	4.15	4.25	5.13	5.37	
11	町境(小良ヶ浜地区)	5.71	6.16	7.34	12.90	
12	深谷消防屯所	4.51	4.94	5.26	5.43	
13	富岡町宮野球場	0.83	0.63	0.83	0.63	除染済み
14	観陽亭前	0.99	1.55	0.88	1.93	
15	富岡合同庁舎西側	2.32	2.28	2.36	2.76	
16	富岡養護学校	2.71	5.62	3.31	6.60	
17	老人福祉センター	5.45	8.56	5.63	9.78	
18	夜ノ森駅	4.80	5.95	5.28	6.33	
19	王塚集会所	1.41	1.71	1.45	0.98	除染済み
20	諏訪神社前	0.88	0.67	2.60	2.95	
21	上本町消防屯所	0.99	1.14	2.34	3.93	除染済み
22	上本町集会所	0.67	0.55	1.85	2.59	除染済み
23	リバルルヒルズ入口	1.51	3.00	1.87	3.43	
24	赤木集会所	0.34	0.31	0.75	0.74	除染済み
25	上郡山集会所	0.39	0.38	1.29	1.70	除染済み
26	太田集会所	0.58	0.58	0.65	0.75	除染済み
27	原下消防屯所	0.40	0.60	1.23	1.53	除染済み
28	富岡駅	0.74	1.18	0.66	1.38	
29	清水消防屯所	0.57	0.43	0.57	0.50	除染済み
30	役場	1.00	1.11	1.04	1.20	除染済み
31	浄化センター	0.20	0.18	0.20	0.22	除染済み
32	毛萱集会場	0.20	0.17	0.38	0.40	
33	富岡保育所	0.57	0.57	1.76	3.05	
34	中央児童館	0.99	1.48	1.21	2.07	除染済み
35	栄町駐車場	0.78	0.61	0.86	0.53	
36	岩井戸消防屯所	0.40	0.30	0.89	1.95	除染済み
37	小浜住宅団地内公園前	2.90	4.77	2.79	5.32	
38	双葉環境センター	1.77	2.08	1.86	2.13	
39	NHK電波塔入口(浜街道)	2.73	4.09	2.86	4.05	
40	深谷集会所	3.15	4.21	4.47	4.70	
41	赤坂神社前	4.60	6.33	5.22	8.10	
42	太平洋フリーディング前	8.45	19.28	10.10	15.80	
43	みよし前交差点	7.88	18.90	8.57	13.80	
44	富岡自動車学校前	4.68	11.16	4.98	11.70	
45	リフレ富岡	2.81	4.22	3.14	4.55	
46	東洋育成園前	1.91	3.76	3.59	5.39	
47	富岡インター駐車場	2.46	3.57	3.06	3.83	
48	上手岡児童館	0.49	0.50	1.38	2.32	除染済み
49	下千里ライスセンター前	2.03	3.62	工事中	工事中	
50	館山荘前	2.74	3.80	2.73	4.19	
51	夜の森つつみ公園	3.43	3.90	3.89	4.00	
52	総合運動場東側駐車場	3.36	4.56	4.02	5.86	
53	華の樹前	4.32	5.60	4.58	6.01	
54	宝泉寺前	2.37	4.35	1.04	0.73	
55	国道6号第二原発入口前	0.86	1.29	1.02	1.56	
56	猪狩スタンド前	0.48	0.37	0.59	0.40	除染済み
57	なべや駐車場前	0.74	1.78	0.82	1.93	
58	大東銀行富岡支店前	0.86	1.08	1.25	0.91	
59	富岡漁港	0.41	0.34	0.38	0.43	
60	サンライズイン富岡前	0.63	0.66	0.74	1.96	
61	福島富岡簡易裁判所前	1.67	2.79	1.65	4.09	
62	ヨークベニマル富岡店前	1.21	2.39	1.41	2.88	
63	今村病院前	2.97	5.96	3.16	5.80	
64	福島銀行富岡支店前	1.30	2.93	1.62	3.31	
65	龍台寺前	1.27	2.81	1.42	3.48	
66	清水団地前	1.48	2.53	1.70	2.66	
67	猪狩電気通信工業前	1.13	1.66	1.67	2.52	
68	上郡消防屯所	0.47	0.43	1.22	2.23	除染済み
69	岩井戸鉱泉	0.91	1.34	1.13	1.56	
70	富岡工業団地	0.36	0.55	0.41	0.41	除染済み
71	成沢の滝入口	0.88	1.69	1.14	1.75	
72	沼名子橋	1.40	2.43	1.90	3.33	

測定器: γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

私たちのお医者さん

こんにちは。大玉仮設診療所です!



第21回 「ドクターG この病気は何ですか」

堀川 章仁 医師(夜ノ森中央病院)

右 足の親指の付け根の激痛で突然目が覚めた。部屋の明かりを付けようとも、痛みで足が動かせない、やつのことのでスイッチに辿り着いた。

眩しい光で痛みを発する親指の付け根を見ると、真っ赤に腫れ上がりズキンズキンと拍動性の痛みが続く、午後9時。突然の点灯に隣の部屋から「どうしたの、突然」と、あわてた妻が入ってきた。妻の歩き一步一步が大きな振動として、畳から患部に伝わり、飛び上がらばかりの痛みとなる。まるでわざと痛みで苦しめるため、巨人が四股を踏んでるような振動に覚えた。「痛い、もう少し静かに歩け」思わず妻を怒鳴りつける。「この足見てみる、寝ている内にこんなに腫れてどうしようも無いほど痛いんだ」あなた今日、朝早くからゴルフに出掛けていたでしょう。足腰弱ってるのに、日頃運動もしないでゴルフの時だけ頑張っている!じゃなきゃ、ゴルフ場に行かないで何か悪い遊びでもしてきたんじゃないの。変だわ」痛い、馬鹿な!優しいさの無い奴だ。今日は天気もいい

し、スコアも今季最高、高いにいい気分だったイテテテ、風呂上がりのビールが旨かったなあ、ちよいと飲みすぎたかなあ、鳥の唐揚げと枝豆、そうそう海老チリも麻婆豆腐も美味かったなあ、沢山食べたなあ。悪い事、1つもしてない。飲み過ぎ、食べ過ぎは多少あったが、ゴルフでいっぱい歩いたし、7時には寝たんだよ、今日は健康優良児ってやつなのに」

私と家内のやり取りではありません。痛風の発症を示した寸劇です。

尿酸値は、腎機能項目に分類されています。尿酸が高いと痛風になることは、良くご存知だと思います。尿酸は蛋白質の分解産物であり、食物中の核酸や体内で作られる核酸・ATP・GTPが、イノシン酸↓イノシン↓ヒポキサンチン↓キサンチン↓尿酸の経過を辿り、尿素として尿中に排出されます。

どうして尿酸が上昇するのでしょうか?①日頃の運動不足②動物性、植物性を問わず蛋白質の豊富な食品③プリン体の多いビール④アルコール等、体外からの摂取に寄与す

るものとされています。具体的には、寸劇の中で登場する、たまのゴルフ、ビール、動物性蛋白質の鳥唐や麻婆豆腐のひき肉、海老チリの海老の身、植物性蛋白質は枝豆、麻婆豆腐の豆腐類の過剰摂取が原因となります。尿酸の80%以上は尿から排泄されるため、腎機能が低下すると尿酸値は上昇します。腎機能障害は別として、①④の原因は自分でコントロールをすることは可能で、悪い生活習慣の連続によって引き起こされる、いわゆる生活習慣病の一つです。

高尿酸血症は、痛風発作を引き起こすのみではなく、最近では狭心症、心筋梗塞の原因になることも注目されてきています。尿酸の正常値は、7mg/dl以下とされています。心臓発作に関係する尿酸濃度は、10mg/dl以上とされています。腎機能は高タンパク食、高塩分食などで悪化します。

糖尿病による慢性障害も社会的問題となっております。腎機能は別と述べてきましたが、悪い生活習慣を続けることにより、腎機能障害を含めた生活習慣病となり、心筋梗塞のため、死に至ることも少なく

診療科目: 内科・外科
診療場所: 大玉仮設診療所
 大玉村玉井字横堀平158-10
受付時間: 午前8時30分~11時30分
 午後1時~4時

曜日	診療科目	担当医師
月	休診	
火	休診	
水	内科・外科	佐藤正憲
木	内科・外科	井坂 晶
金	内科	堀川章仁

はありません。適度な運動、適切な蛋白質、カロリーの摂取、ストレスの解消は、長寿の秘訣だと考えられます。蛋白質や、アルコールなどを禁止している訳ではなく、蛋白、アルコールは控えることの意味であることをお忘れなく。



発行／富岡町
編集／富岡町役場企画課広報係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL：0120-33-6466 FAX：024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>
Eメールは富岡町公式ホームページの「Eメールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。

「さくらスポーツクラブ・ラージボール卓球サークル合同練習会」 写真提供 伊藤 英治さん(小浜)



昨年12月8日、当サークルいわき支部と郡山支部の合同練習会が、いわき市内郷コミュニティセンターで行われました。

震災以降初めて再会したメンバーも多く、思い出話や身の上話をしながらボールを打ち合いました。

和気あいあいと楽しく過ごした3時間はあっという間に過ぎ、またの再会を約束して各自帰路に着きました。

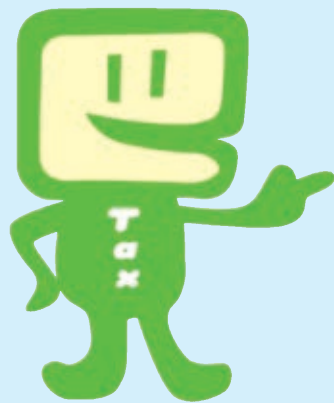
「富岡第二中学校 平成元年度卒業生同窓会」 写真提供 齋藤 忠道さん(王塚)



2015年1月5日、いわきワシントンホテルにて富岡第二中学校平成元年度卒業生の同窓会・厄払いを開催いたしました。

この状況下、連絡体制も十分ではない中で、全国そして海外から約40名の卒業生が集まりました。

当時の先生方もご出席いただき、久しぶりに見る懐かしい面々に、気持ちもあの頃に戻って大変賑やかな同窓会となりました。



**住民税・所得税の
申告相談が
始まります！**

申告相談について、詳しくは
本紙8～9ページを
ご覧ください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。